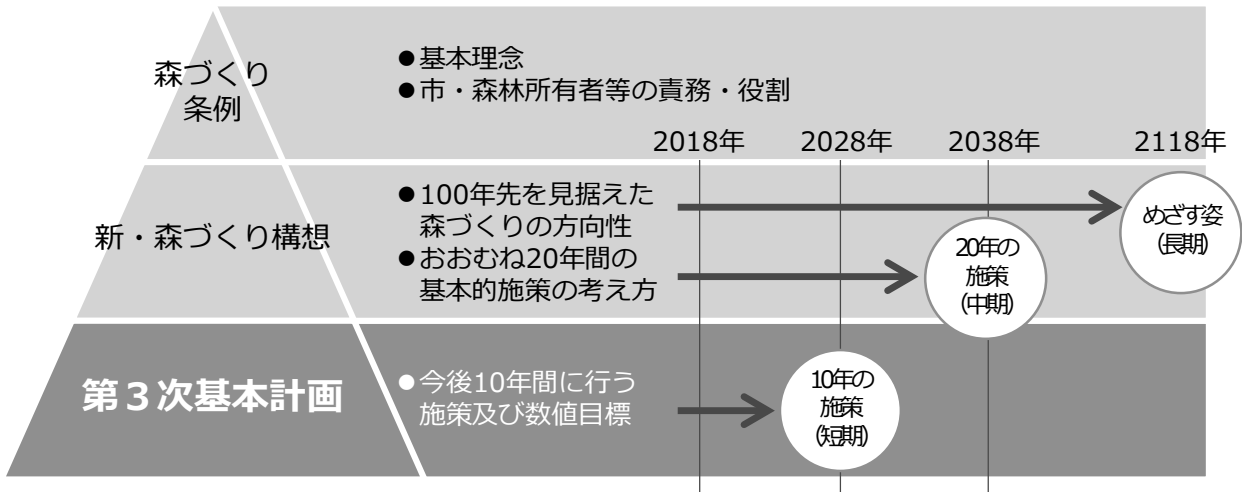


第3次豊田市森づくり基本計画（概要）

● 第3次基本計画とは

第3次豊田市森づくり基本計画（以下「第3次基本計画」）は、新・豊田市100年の森づくり構想（以下「新・森づくり構想」）の実現に向けた森林施策及び数値目標を示したものです。

また、2018～2027年度までの10年間を計画期間としています。



● 豊田市の森林・林業の現状と課題

豊田市の森林・林業を取り巻く、現状や課題を踏まえ、新・森づくり構想の実現に向けた取組が求められています。

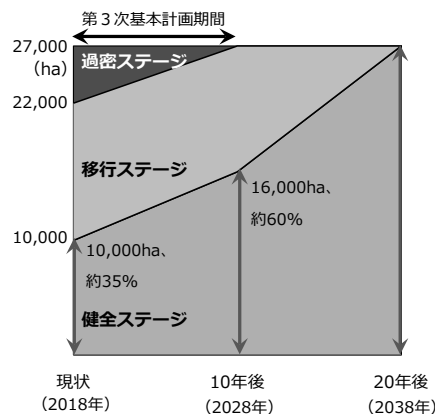
	(現状)	(課題)
人工林	<ul style="list-style-type: none">● 過密人工林の減少● 木材蓄積量の増加	<ul style="list-style-type: none">● 間伐の推進による健全な人工林への誘導● 目標林型を目指した将来木施策● 針広混交林化の推進
木材価格と素材生産量	<ul style="list-style-type: none">● ヒノキ・スギの価格低迷● 木材生産量の拡大	<ul style="list-style-type: none">● 中核製材工場への地域材の安定的な原木供給● 大径化した木材等の販売対策● 皆伐対策による保全と利用の両立
森林所有者	<ul style="list-style-type: none">● 所有規模が零細● 境界が不明確	<ul style="list-style-type: none">● 境界の明確化● 森林所有者との合意形成
森林組合	<ul style="list-style-type: none">● 厳しい経営環境● 地域の担い手として高まる期待● 森林作業員の減少	<ul style="list-style-type: none">● 経営力の強化● 木材生産の効率化と安定供給● 森林施策プランナー、森林作業員の育成

● 第3次基本計画の目標

過密人工林を一掃するため間伐を強力に推進し、健全ステージの人工林の割合を2028年度までに人工林全体の約60%に高めるとともに、100年先の森林の姿を見据えたゾーニング等を開始し森林保全のルールを新設することで、公益的機能を重視した森づくりの基盤を整えます。その上で、木材の生産・流通・利用のスムーズな流れを作り、自立的な生産体制の構築を目指します。

● 第3次基本計画の施策

- ① 2018～2027年度に、過密ステージ・移行ステージの人工林を中心に12,000haの間伐を実施します。
- ② 木材生産林と針広混交誘導林とするゾーニングを設定することで、将来の森林像（目標林型）を目指した施業を開始します。
- ③ 皆伐は周辺環境に与える影響が大きいことから、山地災害等防止において重要なエリアについては皆伐を控える等の森林保全のルールを設定します。
- ④ 作業システムの刷新や林業用路網の整備、中核製材工場との連携、公共施設の木質化を進めます。
- ⑤ 目標林型に向けた適切な施業、地形に応じた効率的な作業システム、労災事故を起こさない現場作業・管理などを実現するため、森林作業員、森林施業プランナー、市職員を対象とした研修等を実施します。



● 具体的施策（重点プロジェクト）

新・森づくり構想の実現化のため、4つの重点プロジェクトを設置し、推進します。

1 間伐推進プロジェクト

- 計画対象人工林のステージ区分を行った上で、間伐を推進
- 地域森づくり会議方式による間伐の推進
- ゾーニングと将来の森林像（目標林型）を目指した施業

目標値 (～2027年度) 年間間伐面積：**1,200ha/年**

目標値 (～2022年度) 森づくり団地計画の樹立累計面積：**15,750ha**

目標値 (～2022年度) 森づくり団地計画の樹立面積：**1,200ha/年**

2 森林保全推進プロジェクト

- 森林保全のルール（山地災害等防止において重要なエリアの設定、大規模皆伐の抑制等）の設定
- 新・森づくり構想の森林区分に基づき、地域森づくり会議との団地化作業等を通して、立地条件等に応じたゾーニングを実施

3 地域材の生産・流通・利用推進プロジェクト

- 豊田型作業システムの確立
- 効率的な木材生産に資する林業用路網の整備
- 森林保全に配慮した壊れない道づくり
- 「林業専用道」の整備
- 林業用路網の維持管理
- 加工・流通体制の構築
- 利用拡大の推進
- 市民理解の促進
- 公共建築物等における地域材の利用

目標値 (～2027年度) 間伐の伐採・搬出コスト：**8,000円/m³**

目標値 (～2027年度) 間伐に伴う素材生産量：**30,000m³/年**

目標値 (～2027年度) 中核製材場における原木取扱量：**45,000m³/年**

4 森づくり人材育成プロジェクト

- 森づくり人材育成研修（森林施業プランナーの育成）の実施
- 国内外の林業教育・研究機関との連携
- とよた森林学校でのセミプロの育成
- 森づくり人材の確保等（緑の雇用事業の活用等）

目標値 (～2027年度) 森づくり人材育成研修生：**4名/年**

目標値 (～2027年度) 「緑の雇用」新規研修生：**3名/年**